

# 公安委員会定例会議(第20回)の開催状況

第1 日 時 令和元年8月7日(水)

午後1時30分 ～ 午後5時30分

第2 出席者 渡部委員長、増田委員、曾我部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官

生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長

警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

## 1 委員長説示

県議会での誤認逮捕事案に関する説明や謝罪等を行ったことで、県民には県警察の姿勢が伝わったのではないかと思います。警察改革の3つの精神の中の一つである「説明と受容」とは、批判等の外部からの指摘を真摯に受け止め、受容して業務等の改善に生かす、この繰り返しにより、警察は真に国民の信頼に足る組織になるということを示したものです。今後も一貫し反省の態度で、しっかりと対応していただきたいと思います。

信頼を確保するためには、「正」「強」「仁」の3つが重要となります。その中でも警察活動において、相手がどのような立場の人であっても「仁」の思いやりをもって人として遇することは、とても大切なことです。相手に対して偏見を持つことなく、人権感覚を身に着けた警察官であってほしいのです。

7月末に警察学校を訪問しました。講話のあと、予定になかった質問時間での積極的な対応や授業に取り組む真摯な態度からも、学生たちが心身ともに逞しく成長していると感じました。集団の中で自分を律して行動すること、不正に対してしっかり自分で判断できること、そして私心を捨てて公に立つ「仁」の思いやりを持った警察官に成長していくことを、今後の県警察の信頼回復とともに期待しています。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録について

総務室から、令和元年第19回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 交通規制の実施について

交通部から、交通規制の実施について伺いがあり了承した。

(3) 警察職員の援助要求について

警備部から、警察職員の援助要求の依頼及び援助要求に対する回答について伺いがあり了承した。

### 3 報告事項

(1) 愛媛県警察運営目標推進状況について

警務部長から、令和元年愛媛県警察運営目標の推進状況について報告があった。

◇ 委員から

業績の数値目標については良好である。ただ、数値だけを追いかけるのではなく、数値に表れない指導管理などの業務にも目を向けることを忘れないでほしい。

との発言があった。

(2) 夏季人事異動の日程について

警務部長から、令和元年夏季人事異動の日程について報告があった。

(3) 監察案件に関する報告について

首席監察官から、監察案件について報告があった。

(4) 刑法犯認知・検挙状況について

生活安全部長及び刑事部長から、令和元年上半期の刑法犯認知と検挙状況について報告があった。

(5) 少年非行概況について

生活安全部長から、令和元年上半期の少年非行概況について報告があった。

(6) 誤認逮捕事案の対応について

総務室長、刑事部長から、誤認逮捕事案の対応について報告があった。

◇ 委員から、

再発防止の一環として、警察官一人一人が本件を重く受け止め、これを契機に人として成長し人権感覚を養ってもらいたい。

◇ 委員から、

原因究明や再発防止策を策定していく上において、警察組織の論理だけではなく、県民の目線や考えも考慮してもらいたい。

との発言があった。

- (7) 令和元年「秋の全国交通安全運動」の取組案について  
交通部長から、令和元年「秋の全国交通安全運動」の取組案について報告があった。
- (8) 苦情の受理及び処理状況について  
総務室から、苦情の受理及び処理状況について報告があった。
- (9) 禁止命令の実施について  
生活安全部から、ストーカー規制法等の規制等に関する法律に基づく禁止命令及び実施状況について報告があった。

#### 4 その他

- (1) 本部長から、誤認逮捕について「引続き調査を徹底し、具体的再発防止対策の作成に取り組むほか、当事者の女性の手記で指摘された問題点についてもしっかりと調査し、しかるべく対応をしてまいりたい。また、当事者の女性には今後も誠意ある対応をしていく。」との発言があった。
- (2) 委員から、「“アンコンシャス・バイアス”という言葉がある。これは考えていない、考慮していない偏見ということであるが、誰もが陥りやすい無意識の偏見、思い込みのことである。10年以上前のことだが、硬度のある規格に合った部品を使い作成した製品を海外等にも販売した結果、その部品が原因で油漏れが発生し、多額の損失が発生した。規格品だから間違いないとの思い込みがあった。ものごとには性別や個人を捉えてはじめて無理であるとか、無意識の偏見で判断しているのではないかをよく考えることが大切だ。」との発言があった。

以上